

先端技術イノベーションプロジェクトの総括について

1 事業概要

目的：県内の企業は総じて規模が小さく、個々の企業では新たな技術や新製品・サービスの開発が難しい状況にある。そこで、県内企業と産業技術センターが連携して研究及び開発に取り組み、オンリーワンの新製品・新技術を創出する。

事業期間：平成25年度～平成29年度

総事業費：1,023,813千円

研究テーマ：県内産業構造や企業ニーズ、市場発展性などから9つのテーマを設定し、プロジェクトで研究開発を行った。

2 全体総括

(事業背景と環境の変化)

- ・プロジェクト開始時は、国内産業の空洞化による雇用情勢の悪化が危惧されており、仕事量の増加が急務であったため、製造品出荷額の増と雇用創出を目的にプロジェクトを開始した。
- ・しかし、その後は経済状況の好転のもとで逆に人手不足が深刻化したため、高付加価値化や生産性向上など質の改善に視点をおいた取り組みが求められた。

(プロジェクトの成果と今後の成長へ繋がる変革)

- ・県内企業と連携して先端的な研究開発に取り組んだ結果、新製品や新規事業を創出し、製造品出荷額約48億円の増と新規雇用約200人を創出した。
- ・取組み前から下地のあったテーマでは、事業化や産業振興に対する効果が現れる時期が早く、効果も大きかったが、基礎研究から開始したテーマでは、技術開発と市場開拓の双方に時間を要し、期間内の事業化に至らないものもあった。
- ・一方で、企業体質の変革や新分野への挑戦、下請け型から提案型への変革、研究開発や販売開拓を実施する部門の創設等の体制づくり等、今後の成長へ繋がる変化も生まれてきている。

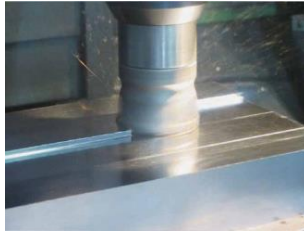
(今後の取り組み)

- ・県内企業を取り巻く環境の変化により、技術革新や企業体質の変革がより一層求められる状況になっている。
- ・そこで今年度からは、これまで取り組んだ研究テーマを発展させた研究開発等に取り組むことで、県内企業の技術進歩を支援する。

3 成果指標

	目標	実績	達成率
製造品出荷額	6,700百万円	4,788百万円	71%
雇用創出人数	240人	198人	83%

先端技術イノベーションプロジェクト 取り組みの概要



特殊鋼・素形材加工技術強化プロジェクト

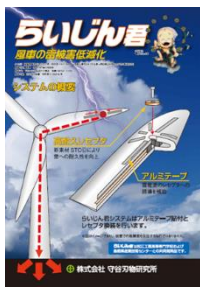
特殊鋼（難削材料）を複雑な形状に高い精度で加工する技術を確立し、参入が難しいとされる航空機部品の受注に繋がった。

また、削りやすく加工コストを削減できる鋳鉄材料を開発し、取引を拡大した。



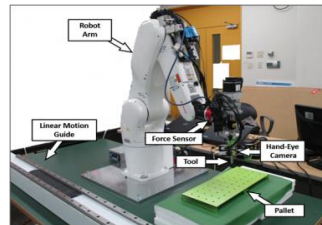
溶射・気相成膜発展技術開発プロジェクト

県内企業と連携して、電子製品へ悪影響を及ぼす電磁波を遮蔽する、これまでになかった表面処理技術を開発した。



レアメタル代替技術開発プロジェクト

STC材（超熱伝導材料）を応用し、風力発電機向けに耐雷性を向上させる製品を開発した。



次世代パワーエレクトロニクス技術開発プロジェクト

カメラやセンサーからの情報を基に自動でボルトを把持して締めるシステムを開発した。



ヒューマンインターフェイス技術開発プロジェクト

カーナビ画面に触れずに片手の指の動きのみで操作できるシステムを開発した。

熱・シミュレーション応用技術開発プロジェクト

県内企業と連携し、レース用自動車向けラジエータ、高出力LEDを活用したトンネル照明等を開発した。



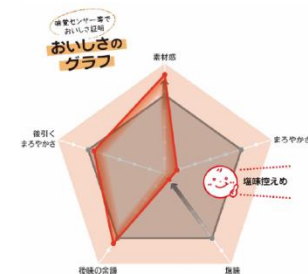
有機フレキシブルエレクトロニクス技術開発プロジェクト

印刷技術を応用した各種センサーやLEDモジュールを開発した。



高齢化社会対応の機能性素材開発プロジェクト

桑や葛などの島根県産の機能性素材を用いたお茶等の商品を開発した。



感性数値化・食品等高付加価値化プロジェクト

島根県産食品の味、香りの分析データをパンフレット化した「エビデンスブック」を作成し、商談等で活用して販路開拓につなげた。